

事務事業名 中学校ナイター施設運営事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：716

施 策：	22	スポーツ・レクリエーションの推進	財務コード	01090702-01-00
基本事業：	01	スポーツ施設の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	スポーツ施設満足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ振興担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~					新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			（施設名） ・筑紫野中学校グラウンド ・筑山中学校グラウンド  （開放時間） 午後7時から午後10時まで  （開放曜日） 月曜日から土曜日まで  （申請手続き） 勤労青少年ホームで受付 使用許可申請書を提出 使用許可書を受領 グラウンド利用							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
ナイター設備のある2校のグラウンドを夜間開放することにより、スポーツの場の提供と、生涯スポーツの奨励を図る。										

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標	
筑紫野中学校ナイター施設利用者数	人	2,013	1,932	2,500	2,500			2,500	
筑山中学校ナイター施設利用者数	人	1,491	940	1,500	1,500			1,200	

5. コスト									
事業費	計	千円	1,059	772	1,235	1,246			
	国	千円		0	0	0			
	県	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円	1,059	772	1,235	1,246			
一般	千円	0	0	0	0				
正職員人工数	人工	0.2	0.2	0.2					
正職員人件費	千円	1,613	1,606	1,584					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	2,672	2,378	2,819	1,246				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	天候によって利用日に影響するので年度によって利用者数は増減するが、夜間に利用できる身近なスポーツの場となっている。また、市民のスポーツ活動を活性化していくために有効な活動の場となっている。								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	中学校ナイター施設を開放することで、昼間にスポーツができない市民が、屋外の夜にスポーツが出来ることによって公平にスポーツができる機会を与えている。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）		備考・特記事項 or 進行管理欄							
昭和53年から使用開始。 昼間にスポーツができない市民が、夜にスポーツが出来ることによって心と体の健康を養い生涯スポーツ社会の実現に貢献する。		令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大し、国の「緊急事態宣言」発出等から施設利用が中止の影響を受け、成果指標である各利用者数の減となった。							